

# 大川市議会だより

令和5年6月1日 第204号

●編集 広報委員会 ●発行 大川市議会 TEL 85-5622(直通)

## 改選後初の市議会臨時会 〈 5月9日 〉

公職選挙法の規定により議員の寄附行為・時候の挨拶状・中元・歳暮などは禁止されています。



議長選投票風景



議長就任挨拶



副議長就任挨拶



### 【令和5年第2回臨時議会のあらまし】

第2回臨時議会は、5月9日に開催しました。この中で、正副議長の選挙、常任委員会や議会運営委員会の委員の選任等を行いました。また、大川柳川衛生組合議会や花宗太田土木組合議会等の議員と各種委員等を選出したほか、市長から提案された議案6件を審議しました。

【令和5年第1回定例議会のあらまし】  
第1回定例議会は、2月27日から3月17日までの19日間の会期で開催しました。この定例議会では、市長提案の条例議案15件、予算議案8件、その他1件及び議員提案の議案2件を審議しました。初日に、倉重市長から新年度の市政運営に関する所信が述べられ、専決処分承認等を審議しました。3月2日、3日に一般質問を行い、6日に常任委員会、8日と9日に予算特別委員会を開催しました。17日に、各常任委員長及び予算特別委員長から審査の経過及び結果報告を受け、審議しました。また、市長から議案1件、議員から議案2件の追加提案がなされ、審議しました。

3月定例議会のあらまし  
一般会計補正予算等を可決

.....2

令和5年度一般会計予算を可決

.....6

一般質問 9人の議員が市政を問う

.....9

5月臨時議会のあらまし

.....14

# 令和5年 第1回定例議会

## 審議された案件

次の案件は提案どおり

承認されました

○専決処分承認

(4年度一般会計補正予算

(第7号))

今回の補正は、ふるさと寄付金の増額に伴う謝礼品及び基金積立金にかかる経費並びに出産・子育て応援交付金事業にかかる経費です。

次の案件は提案どおり

可決されました

○大川市副市長定数条例の

一部改正

本則中、「1人」を「2人」に改めるものです。

## 人事案件

3月定例会において、次の方の選任に同意しました。

◎大川市副市長

森 寿貴

## 委員会審査 総務委員会

付託された案件はいずれも  
提案どおり可決されました

大川市事務分掌条例の一部改正

市の組織機構を見直し、5年度から大川の駅整備振興課を設置するための改正です。

問 現在の大川の駅推進室と、5年度からの大川の駅整備振興課の職員数は。

答 大川の駅推進室は4年11月の人事異動後、正規職員5名、再任用職員1名の計6名体制です。大川の駅整備振興課では事業推進の本格化、業務の拡大に伴い、増員体制で臨むことで検討中です。

大川市個人情報保護に関する法律施行条例の制定

大川市個人情報保護審査会条例の制定

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律に

より、5年4月1日から、個人情報の保護に関する法律の規定が地方公共団体にも直接適用されることとなるため、大川市個人情報保護条例を廃止するとともに、法の施行に必要な事項を規定する条例及び法の規定により審査請求について諮問する附属機関について規定する条例を制定するものです。

大川市情報公開条例の一部改正

大川市情報公開・個人情報保護審査会を大川市情報公開審査会に改めるほか審査請求の対象となる不利益処分の対象等について、国の行政機関と同様の取扱いをするための改正です。

大川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正

5年度から生活保護法による医療扶助についてマイナンバーカードを利用したオンライン資格確認が導入されますが、法律で規定されていない外国人に生活保護を適用する場合はマイナンバーの独自利用事務として条例で規定する必要があります。改正するものです。

大川市職員等の旅費に関する条例の一部改正

市の要請により国家公務員から引き続き職員となった者等が赴任する際の移転料、着後手当及び扶養親族移転料の支給に関して定めるための改正です。

問 旅費について伺う。

答 公務による出張等は旅費規程により交通費を支給し、個人的な帰省等は個人負担となります。また宿舎については、民間の賃貸住宅を利用いただくことになり、費用は個人負担となります。

問 赴任旅費の予算組みは。

答 特別に予算を組むのではなく旅費総額の中で予算組みしています。

要望 市長が特に必要と求められる方が本市に採用されることから旅費に関して十分な配慮を行い、良い環境のもとでしっかり仕事をやっていただくようよろしくお願いしたい。

意見 国から優秀な人材を派遣していただく今回の提案は、本市の将来に対する投資であり、政治生命をかけた市長の英断である。



## 文教厚生委員会

付託された案件はいずれも  
提案どおり可決されました

大川市子ども・子育て会議条例の一部改正

こども家庭庁設置法の施行に伴い、関連法の改正が行われることにより、また、子ども・子育て会議の事務を所掌する部署を変更するため、改正するものです。

内容は、こども家庭庁設置法の施行に伴い、条文の必要な部分を変更し、子ども・子育て会議の事務局の庶務を子ども未来課から福祉事務所へ移管するものです。

問 子育て支援に関し、一元化していた子ども未来課の事務が福祉事務所の一部振り分けられれば、情報共有や迅速な対応ができなくなるのではないか。

答 福祉の観点と母子保健の観点が一緒になって情報共有しながら、一人の子どもをあらゆる角度で見えていくことや、そのための連携会議はこれからも行い、保育園等とモッカランドの連携による発達障害支援事業など、今後もしっかり

行っていくます。

要望 子育て支援は特に必要とされている支援であり、小さなことでもきちんと連携を図り、迅速な対応を行っていただきたい。

大川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するものです。

内容は、保育所を含む児童福祉施設等において児童の安全の確保に関する計画の策定に係る規定や、バス送迎にあたっての安全管理の徹底に係る規定を加えるものです。

問 バス送迎での安全管理に関し、確認ブザーはどのようなものか。

答 車内の見回りを促すため、バス後部にスイッチが設置されており、停車後一定時間が経ってもそのスイッチを押さない場合はブザーが鳴る装置や、停車から一定時間が経ち、車内で動体感知するとブザーが鳴るセンサー式装置が想定されています。

大川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

民法等の一部を改正する法律の一部施行により、関係法の懲戒権に関する規定が削除されたこと、及びこども家庭庁設置法の施行に伴い、関係法の条項の改正が行われることから、改正するものです。

大川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するものです。

内容は、放課後児童健全育成事業所においても、児童の安全の確保に関する計画の策定に係る規定のほか、業務継続計画の策定に係る規定を加えるものです。

問 学童保育所は安全計画を新規で策定することになると思われるため、市からある程度たたき台を示していただくなどの支援をお願いできないか。

答 そのような形で支援していきたいと思えます。

大川市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の改正により、介護保険施設等に入所又は入居している障害者に係る医療費について、施設がある市町村の財政負担を軽減するため、その方が入所又は入居する前の居住地の市町村が支給決定を行うこととされたため、改正するものです。

大川市国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の改正に伴い、5年4月から出産育児一時金の額を引き上げるため、改正するものです。

内容は、出産育児一時金の額を40万8千円から48万8千円とし、産科医療補償制度の掛金1万2千円と合わせて出産育児一時金の支給総額を50万円とするものです。

5年度国民健康保険事業特別会計予算

国民健康保険法に基づく医療事業等の予算で、予算総額は、46億400万円です。

問 疾病予防費の生活習慣病重症化予防事業委託料の内容は。

答 特定健診を受診されて、受診勧奨レベルにある方々に対し、集団検診や個別検診の結果が出る度に個別に通知を行い、受診勧奨や保健指導を行っています。

また、特定健診のアンケートの項目が多い理由は、健康寿命を延ばすためには、自らが自覚して生活習慣を改善することが大事になるため、生活習慣を捉えて、健診結果と併せて改善すべきところの動機付けなどを行っています。

5年度後期高齢者医療事業特別会計予算

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療事業等のうち、保険料徴収など本市が行うべき事業等の予算で、予算総額は6億7千800万円です。

5年度介護保険事業特別会計予算

介護保険法に基づく介護保険事業の予算で、予算総額は41億2千600万円です。

問 一般介護予防事業費の一般介護予防事業委託料の内容は。

収支不足額の2億3千14万4千円は、当年度分損益勘定留保資金1億4千712万8千円などで補填します。

問 水道は生活上とても大事なものであるため、今後の電気料金や水道料金がどのようになるかわからない状況に市民は不安をいんでいる。収益においても、人口減少に伴い難しい問題が出てくると思う。このような状況下、どのように水道事業を行っていくのか。

答 電気料金の負担も増加しており、水道事業も財政的に非常に厳しい状況にあるが、生活物価が同様に上がっている状況であるため、市としては、できる限り経営努力を行うことにより、当面は値上げをしない方向で考えている。また、国、県が水道事業の広域化の方針を示していることを踏まえ、今後、市としても広域化を視野に入れて取り組んでいきたいと思っています。

問 漏水修理件数の見通しは。

答 漏水件数は年度により異なるが、近年急激に増えているということはなく、例年並みの件数を想定しています。

答 元年度から3年度までの3年間、実際はコロナ禍で1年休止していたため4年度まで、成果運動型認知症予防事業を慶応義塾大学と民間教育事業者と本市が協定を結んで実施し、成果指標を考え、それを評価し、インセンティブを付与して委託料を支払ってきまして、4年度で協定が終了するた

め、5年度は今までの事業を継続しながら、地域で活動を続けていき、自主活動につなげていきたいと思っています。また、大学による評価に充てていた経費を教材費に充てて参加者の負担を少なくしながら、一人でも多くの人に参加していただきたいと思っています。

総括質疑

問 現在市では介護予防に重点がおかれているが、要支援認定を受けられた方が通所サービスを利用しにくい状況があるのではないか。

答 5年度に介護保険事業計画を策定する中で、総合事業をどのように見直していくか、委員等の意見をいただきながら、検討させていただきたいと思えます。

5年度下水道事業会計予算

本会計予算の第3条収益的収支は、収入の下水道事業収益が5億4千933万1千円、支出の下水道事業費が4億8千774万1千円です。

予算第4条資本的収支は、資本的支出が5億3千240万5千円、資本的収入が3億879万2千円で、収支不足額の2億2千361万3千円は、当年度分損益勘定留保資金1億6千202万円などで補填します。

問 建設改良費の国県補助率について。

答 社会資本整備総合交付金について、下水道工事では面的に木の枝のような形で整備を進めていくなかで、一定の下水道管の大きさ、流入量以上でなければ補助対象にならないため、補助対象外は市で工事費を負担することになります。

総括質疑・要望

当分の間は水道料金を据え置いて頑張りたい旨の発言に対し、敬意を表すとともに、下水道事業についても、より一層努力していただきたい。

産業建設委員会  
付託された案件はいずれも提案どおり可決されました

大川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

農業委員会等に関する法律及び農業委員会等に関する法律施行令の規定により、非常勤特別職として、農地利用の最適化業務の推進を図る農地利用最適化推進委員を置き、その定数を定め、並びに農業委員会の委員の定数を改めるものです。

内容は、大川市農業委員会の委員の定数に関する条例の全部改正を行い、農業委員の定数及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもので、農業委員の定数を現在の15名から14名に、また新たに委嘱する農地利用最適化推進委員を4名とするものです。

大川市都市公園条例の一部改正

大川中央公園リニューアル事業により拡張される運動広場について、利用者の利便性向上を図るた

# 予算特別委員会



付託された案件は提案どおり  
可決されました

## 5年度一般会計予算

一般会計の予算編成にあたっては、歳出面では、大川中央公園リニール事業等が完了するものの、大川の駅整備事業への本格的な着手により、普通建設事業費が増加し、歳入面では新型コロナウイルス感染症の影響等からの回復により、市税の増加が一定見込まれるものの、依然として厳しい財政状況が続くものと見込まれています。このため、財政の健全性の確保に留意しつつ、限られた財源の効率的かつ重点的な配分に努めた結果、一般会計の予算規模は178億3千万円となり、前年度当初予算との対比では、5・6パーセントの増です。

予算特別委員会の審査の過程では各款にわたり、多くの質疑、意見等が交わされました。

(主な質疑・意見等)

## 庁舎改修設計業務委託料について

**問** 庁舎改修設計業務の内容は。

**答** 空調設備関係やエレベーター設置などバリアフリーに係る改修の設計と併せて非常用電源の確保の実施設計を行います。エレベーター設置は他の工事と併せて、部屋の利用制限ができるだけ短期間で終わるよう工夫して工事を行います。

## キャリアアップチャレンジ 応援補助金について

**問** キャリアアップチャレンジ応援補助金の内容は。

**答** 市外在住で仕事をしている39歳までの方を想定し、大川市で起業や副業にチャレンジするにあたり支援を行うものです。市内に宿泊した場合に1泊あたり上限5千円を補助します。チャレンジする人を応援する姿勢を示すことで、本市のPRと、関係人口を増やし移住につなげていきます。

**意見** 支援にあたり不正が起きないように、きちんとした制度で行ってほしい。

## 高齢者安全運転支援事業 補助金について

**問** 高齢者安全運転支援事業の内容は。

**答** 4年度からの新規事業として高齢者の運転操作誤りによる事故を防止するために後付け安全運転支援装置を設置された方へ、2万円を上限に費用の2分の1の補助を行っていたものに、5年度からはシニアカーや電動三輪車の購入についても10万円を上限に費用の2分の1を補助対象に加えるものです。介護認定を受けている方は保険給付サービスの制度があるため、補助の対象外としています。

## 高齢者運転免許証自主返納等 助成金について

**問** 4年度の申請実績は。

**答** 運転免許証を自主的に返納された方が66名、運転免許証の期限切れで失効された方が24名、合わせて90名から申請がありました。

**意見** 大川市では70才以上の運転免許証自主返納者等を対象に、市からタクシー券1万円分を補助していること、また、県の補助で運転免許証を返納する際に発行され

るカード型の顔写真付き運転経歴証明書をタクシー会社に提示することでタクシー料金の10パーセントが割引になることを市報等で市民に周知いただきたい。

## アピアランスケア推進事業 助成金について

**問** がん患者に限定する理由は、また予算11万円は少なすぎでは。

**答** 本事業はまず県が取り組んでおり、本市でも5年度から県の事業にならって実施していきます。がん患者やがん経験者のがん治療に伴う外見の変化に助成すること、を想定しており、県内市町の申請状況、平均値を基に、医療用ウィッグについては2万円を上限に5名分、乳がん患者の補正用パッド等の補装具や下着類については1万円の1名分で計11万円を計上しています。

## 活力ある高収益型園芸産地 育成事業費補助金について

**問** 4年度より補助金額が減っている理由は。

**答** 県の単独事業であり、4年度とは事業要望実施主体や要望内容が異なるためです。

**問** 大川市独自の補助金はどれくらいあるか。

**答** がんばる農業支援事業費補助金1千250万円、スマートアグリ推進事業費補助金70万円、大川市い業振興協議会補助金27万円、青年農業者活動支援事業費補助金20万円、地域就業支援体制構築促進事業費補助金5万円は、市単独で実施している補助金です。

**要望** 農業振興地域は県の補助事業があるが、用途地域内の農業者は厳しい状況にあるため、市の補助でできるだけ支援し、用途地域内の農業がスムーズにいくよう補助金を交付いただきたい。

## 大川看板商品開発・PR事業 補助金について

**問** 5年度の事業内容は。

**答** 4年度に開発したタレ付け唐揚げを看板商品として引き続きPRし、加えて、新商品の開発、SNSの運用、ウェブサイトの制作などによるプロモーションを考えていきます。

## 木造戸建て住宅性能向上改修 促進事業補助金について

**問** 木造戸建て住宅性能向上改修促進事業の補助内容は。

**答** 地震に強い安全で安心なまちづくり及び脱炭素社会の実現を目指すことを目的とし、従来の木造戸建て住宅耐震改修促進事業補助金に代わる新たな補助制度です。

対象は、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準の建物で、耐震改修と省エネ改修を併せて行う性能向上改修工事と耐震不足の建物を建て替えるための解体工事であり、そのうち省エネ改修では、主に、窓、ドア、外壁、床等の断熱性能を向上させる省エネ改修やエコキュート等の設置工事を補助の対象とします。性能向上改修工事は対象経費の25パーセント以内、上限60万円を補助し、解体工事では、建て替えに伴う解体と住み替えに伴う解体が補助対象となり、対象経費の23パーセント以内、上限30万円を市が補助します。

**問** 広報の方法について。

**答** 現在チラシ等を作成しており、6月には市報もしくはチラシ等で広報する計画です。

## 防災士資格取得助成金について

**問** 防災士資格取得の内容は。

## 高齢者安全運転支援事業 補助金について

**問** 高齢者安全運転支援事業の内容は。

**答** 4年度からの新規事業として高齢者の運転操作誤りによる事故を防止するために後付け安全運転支援装置を設置された方へ、2万円を上限に費用の2分の1の補助を行っていたものに、5年度からはシニアカーや電動三輪車の購入についても10万円を上限に費用の2分の1を補助対象に加えるものです。介護認定を受けている方は保険給付サービスの制度があるため、補助の対象外としています。

## 高齢者運転免許証自主返納等 助成金について

**問** 4年度の申請実績は。

**答** 運転免許証を自主的に返納された方が66名、運転免許証の期限切れで失効された方が24名、合わせて90名から申請がありました。

**意見** 大川市では70才以上の運転免許証自主返納者等を対象に、市からタクシー券1万円分を補助していること、また、県の補助で運転免許証を返納する際に発行され

**答** 4年度と同様に10名予定しています。利用条件は、自主防災組織で活動いただける方や消防団員です。

**意見** 区長会等を通じて助成制度の更なる周知を行い、しっかりとした防災活動等ができるよう資格取得の推進をお願いしたい。

**要望** 各地域防災組織に防災士が必ず1人いれば防災訓練が行いやすい。関係者に対し市から強くお願いいただきたい。

## 校種間連携推進事業費 補助金について

**問** 5年度は小学校から大学まで参加者を広げて音楽会という形で行う予定について、子供たちに質の高い音楽を体験させる意味で幅広く協力者を募り、できるだけ大きい資金で一流の方をゲストに呼べるような形でできないか。

**答** できる限り協賛いただけたところを探して、より良いものとなるよう取り組んでいきます。

**意見** 校種間連携推進事業は、お兄さん、お姉さんたちが活躍する姿をしっかりと後輩たちに見せることも大事な目的として事業を行っていただきたい。

# 一般質問 市政を問う!!

◎一般質問とは、議員が市政全般について市長など執行機関の考えを  
ただし、報告や説明を求めることです。  
◎詳細は会議録（今回の会議録は、6月中旬からホームページ、図書館、  
各コミセンにて公開）またはインターネット議会中継をご参照ください。

一般質問の映像は、  
ホームページでご覧いただけます。



3月2日



3月3日

| 3月3日               |                                         |                             |                         | 3月2日           |              |                                    |                      | 氏名    | 質問の要旨      |
|--------------------|-----------------------------------------|-----------------------------|-------------------------|----------------|--------------|------------------------------------|----------------------|-------|------------|
| 遠藤 博昭              | 永島 幸夫                                   | 川野栄美子                       | 宮崎 稔子                   | 西田 学           | 内藤 栄治        | 馬淵 清博                              | 永島 守                 |       |            |
| 1 子ども達の放課後の居場所について | 1 「大川の駅」の計画について(第8弾)<br>2 市営小保団地建替えについて | 1 これまでの女性の活動とこれからの女性の活躍について | 1 小保・榎津の歴史的町並みの保存活用について | 1 「大川の駅」整備について | 1 「大川の駅」について | 1 本市農業の今後の課題と取組は<br>2 本市の消防行政と消防団は | 1 コロナ後の市政運営とその対応について | 古賀 龍彦 | 1 倉重市政について |

**問** 副市長就任以降の取組は。  
**答** 本市の人口減少、産業振興が  
一番の課題、問題だと自分の中に  
刻み込み、少しでも上向きにでき  
ないかと考えてきました。新しい  
副市長と強力なタッグを組み、市

**問** 教育長のこれからの抱負は。  
**答** 大川市教育大綱を基にした教  
育復興プログラムの実現のために、  
たくましくしなやかに生きる力の  
育成、人づくりのための教育、地  
域づくりのための教育、教育環境  
づくりの4つの目標に向かって取  
り組めます。

**問** 中学校統合による生徒たちの  
反応や成果等は。  
**答** 生徒数が増えたことによる活  
動の活性化が見られます。勉強面  
では、よい意味で競争して学び合  
う環境となり、子どもたち同士が  
切磋琢磨して高校進学などの進路  
実現を果たしています。

また、副市長2名体制について  
は、大きな事業を行う中、しっか  
りとプロジェクトマネージができ  
る人材が必要であり、一定程度ま  
とまりのある業務を統括して仕事  
を行うことが効率性が高いと考え  
ています。

**問** 市長の本市未来像への構想は。  
**答** 5年後に開業を目指す「大川  
の駅」の中身を詰め、もっと効果  
を出していくことです。たくさん  
の先輩たちがつくり上げてこれら  
れたこのまち、大川のよさを都会の  
方や世界中の方に広めていくため  
に、我々も再構築していきたいと  
の思いを込めて「大川リビルディ  
ング事業」として、これから取り  
組んでいきたいと思っています。



倉重市政について

古賀 龍彦 議員

| 議決結果一覧 |                                                   |      | 「○」・・・賛成                |          |          |          |          | 「●」・・・反対 |         |         |          |          | 「―」・・・退席 |           |           |          |   |  |
|--------|---------------------------------------------------|------|-------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|-----------|-----------|----------|---|--|
|        |                                                   |      | ※議長は可否同数の場合以外は表決に参加しません |          |          |          |          |          |         |         |          |          |          |           |           |          |   |  |
| 付託委員会  | 3月定例会に付された案件<br>（表決が分かれたり、退席があった）<br>案件のみ記載しています。 | 議決結果 | 議長<br>平木<br>一朗          | 総務委員会    |          |          |          | 文教厚生委員会  |         |         |          |          | 産業建設委員会  |           |           |          |   |  |
|        |                                                   |      | 永島<br>守                 | 馬淵<br>清博 | 宮崎<br>稔子 | 永島<br>幸夫 | 遠藤<br>博昭 | 古賀<br>寿典 | 龍<br>誠一 | 西田<br>学 | 宮崎<br>貴仁 | 内藤<br>栄治 | 吉川<br>一寿 | 川野<br>栄美子 | 箴島<br>かおる | 古賀<br>龍彦 |   |  |
| 総務     | 議案第2号 大川市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について                 | 可決   | ／                       | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○       | ●       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○         | ○        | ○ |  |
|        | 議案第3号 大川市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について                  | 可決   | ／                       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○       | ●       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○         | ○        | ○ |  |
|        | 議案第8号 大川市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について            | 可決   | ／                       | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○       | ●       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○         | ○        | ○ |  |
|        | 議案第17号<br>令和4年度大川市一般会計補正予算                        | 可決   | ／                       | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○       | ○       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○         | ○        | ○ |  |
| 予算特別   | 議案第18号<br>令和5年度大川市一般会計予算                          | 可決   | ／                       | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○       | ―       | ●        | ○        | ○        | ○         | ○         | ○        | ○ |  |
| ／      | 議案第24号<br>大川市副市長の選任について                           | 同意   | ／                       | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○       | ●       | ○        | ○        | ○        | ○         | ○         | ○        | ○ |  |

- 反対討論**

議案第2号 現在の一人体制ではだめなのか、副市長の業務に支障をきたしているのか、副市長の能力を疑うのか、大川市の財政規模では必要ないと考えるため、副市長を2人制にすることに反対します。
- 賛成討論**

議案第2号 令和5年度から「大川の駅」事業が推進されていくにあたり、実行力とスピード力をより高めるために必要な体制だと思う。この新体制により、市職員も心引き締まる思いで推進していくと思うため、賛成します。
- 反対討論**

議案第18号 令和5年度一般会計予算に、総務管理費 大川の駅整備振興費3億981万6千円が含まれているため、反対します。

**問** 市民税が個人、法人ともに前年度比増額となっている理由は。  
**答** 過去3年間、コロナ禍の影響による減収見込みに対し、決算額は予算額をはるかに超える見込みとなっているため、新年度予算も本年度と同程度の税収が確保できる見込みです。

**市税について**  
**意見** 事業の成果を子どもたちにきちんと伝えて、次のリーダーが生まれてくるよう、持続できるような事業にしてほしい。

**問** 短期指導でリーダーの資質が身につくか。  
**答** 県事業であり、すでに実施された地区では非常に成果が出ています。5年度は南筑後地区で全体で40名、本市からは4名が参加予定です。本市の会場では建具や組子の講義、組子製作体験など、本市の伝統産業を学びます。

**問** 未来の地域リーダー育成プログラム負担金について  
**答** 本市基幹産業は円安の影響で疲弊している。予算執行にあたり、市民生活がマイナスにならないよう願っている。

**問** 企業誘致では主要道、国道の利用促進と併せた取組をお願いしたい。  
**答** 職員は常に変革の意識を持ち、仕事に取り組めば、千載一遇のチャンスである5年度事業は必ず前に進む。また、職員は横のつながりをしっかり持ち、いろいろな角度から物事を見てもらいたい。

**問** 「ふるさと納税返礼品数日本一大川」をキーワードに、職員と議員が本市の営業マンとなって再起させていきたい。道の駅事業は本市が生き残る道である。議会で承認した以上、着実に執行していきたい。  
**答** 政策の実現には、熱意と努力と信頼が不可欠である。大川の駅事業はかつてない大事業であり、本市の将来に必要な施策である。市長が政治生命をかけて取組む事業を職員とともにぜひ実現していきたい。

## 総括意見・要望

○大川市が市民にとって更に住みやすいまちとなるよう、市役所か

から地域に飛び出していくような行政であってほしい。



コロナ後の市政運営とその対応について  
永島 守 議員

**問** 九州佐賀国際空港へのオスプレイ及び自衛隊の配備等について。

**答** 2月27日に佐賀市長は、防衛副大臣との会談で、環境保全や安全対策など8項目の要望に合意がなされたことにより、オスプレイ配備計画の受入れを表明されました。今後は駐屯地建設に向けた用地交渉の本格化が予想されます。市長就任以来、九州防衛局へ出向き、情報交換を重ねており、安全面を第一に、十分な地元対策が講じられるよう引き続き要請します。

**問** 市内地場産業の育成等は。

**答** 小規模事業者に対する経営指導をはじめ、新たな取組の支援に努めています。また、多様な企業を誘致し、新たな産業を本市に取り込むことも重要と考えています。

**問** 環有明海沿岸地域連携策の今後のありようと市長の考えは。

**答** 有明海沿岸道路計画の延長55

キロメートルが完成すれば、熊本

県荒尾市から佐賀県鹿島市まで約1時間で行き来できるようになり、環有明海80万人都市圏が誕生し、一体的な経済圏域が形成されます。「大川の駅」プロジェクトの成功は、本市のみならず、環有明海地域の未来にとり大変重要であり、今後もお互いの関係性を高めながら、連携強化に努めていきます。

5年度からは、「大川の駅」を核とする地域活性化を実現するため、大川リビルディング事業を開始します。9年度の「大川の駅」

開業に向け、本市の産業及び観光政策を再構築し、誘客数を大きく増加させるための事業として、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して取り組むよう計画しています。長いトンネルから抜け出し、市民の皆さんとともに、職員一丸となって前進していきます。



「大川の駅」について  
内藤 栄治 議員

**問** 「大川の駅」がうまくいかなかったら、市民サービスに影響が出るのではないかと心配している

**答** 私どもが考えていることを伝える機会を増やしていくことに尽きるのではないかと考えています。2月4日に開催しました「大川の駅」シンポジウムでのアンケートでは、多くの方がとても期待を持てるといふことと併せて、本市の未来をつくっていく話であり、今回のような市民向けの説明やPR等をもっと行ってほしいという声を頂きました。

うな形をきちんとつくっていかないといけないと思っています。

**問** 道の駅基本計画では、道の駅の概算事業費を約50億円と算定されているが、市の負担額は。

**答** 現時点では算定することができません。今後、より具体的に施設の規模、配置等の計画の精度を高めていき、詳細な事業費を算出していく中で、国県の補助がどのような部分に使えるかなどが明らかになってくれば、おのずと事業費の負担も明確になってきます。

**問** 経営が悪化した場合は、どのような方法を考えているか。

**答** いずれの事業手法であっても、市が事業に関わる以上は、モニタリングを実施するなどして、適正な運営が行われているか、公共サービスの適正な提供が確保されているかなど、当然確認していかなければならないと考えています。



本市農業の今後の課題と取組は  
本市の消防行政と消防団は  
馬淵 清博 議員

**問** 耕作放棄地、遊休農地が年々増えているが、農地再生に対する補助金制度などの市の支援策は。

**答** 市独自での遊休農地政策の補助金は現段階ではありません。基本的には所有者の責任において行っていたことが前提としてありますが、他自治体を見ますと、農地再生の取組に対して、一定の補助金制度があるところも見受けられるため、今後、市としてもどのようなことが必要になってくるのかを検討しながら、進めていく必要があると認識しています。

**問** 農家が5年後、10年後をどのように考えているのかアンケート調査を行って、経営の安定化に取り組むことはできないか。

**答** 5年4月1日から農業経営基盤強化促進法が一部改正され、市においても5年、10年先の農地利用の在り方を示す目標地図を含む

地域計画を策定することが法定化

されています。その過程において集落の話し合いや農家に対するアンケート調査も必要になってくると考えています。

**問** 消防団の団員の減数対策は。

**答** 特定の活動、役割のみに参加する機能別消防団の導入について、現在、近隣市町村の状況などを調査研究しており、今後、消防団と協議しながら検討していきたいと考えています。

**問** 団員が減数している状況で、地域防災体制への影響はないか。

**答** 現在のところ、消防活動に影響なく対応いただいています。今後、大規模災害などに備えていく必要がありますので、団員確保はもとより、消防団の機能向上のため、引き続き教育訓練や装備充実に取り組んでいかなければならないと考えています。



「大川の駅」整備について  
西田 学 議員

**問** 民間企業の誘致について、企業側は浸水リスクの少ない高台を望んでいるのではないか。

**答** これまでの企業側との協議において、浸水リスク、防災状況は全体計画にありますが、高台のほうが良いという意見はありません。

**問** 民間事業用地の取得時期は。

**答** 誘致する企業が決まってからの用地取得になると思われるため、取得時期は現時点では未定です。

**問** 「大川の駅」に民間事業用地は含まないのか。

**答** 「大川の駅」全体計画の整備想定区域約8万6千平米に民間事業用地は含まれています。現在進めています「大川の駅」整備事業には含まれていません。

**問** 「大川の駅」全体計画の整備想定区域は、何を根拠に約8万6千平米もの大きな面積にしたのか。

**答** 「大川の駅」整備想定区域と

して、道の駅と民間事業用地を既存の道路や水路なども含めて全体的に考えたところで約8万6千平米になったということです。

**問** 事業手法は今年度中に決定されるのか。

**答** 現在精査中であり、今年度中に方向性は決めていきたいと考えています。

**問** 決定する事業方式は、民設民営、それとも公設民営か。

**答** その辺りも含めて方向性を決めていきたいと考えています。

**問** 維持管理費以外にも物価上昇分、川の駅整備分、金利、民間事業用地整備代などを加えると総事業費は100億円を超えるのでは。

**答** 道の駅基本計画で、道の駅の概算事業費を約50億円と算定しており、それ以外の費用は現時点では算定しておらず、100億円を超えるかどうかは分かりません。



小保・榎津の歴史的町並みの保存活用について  
宮崎 稔子 議員

**問** 本市では、国土交通省の事業である街なみ環境整備事業を導入しているが、その経緯は。

**答** 平成26年度から、歴史的な町並みの景観整備・保全のため、本事業を導入しています。小保・榎津地区の町並みには、質の高い伝統的建造物が数多く残されていることが当時の九州芸術工科大学の調査によって明らかになり、地域住民の町並み保全を基調とするまちづくりへの機運が高まりました。

**問** 事業後は、小保・榎津地区の町並み保存をどのようにお考えか。

**答** 街なみ環境整備事業の事業計画期間は、平成26年度から令和5年度までの10年間ですが、この事業は町並み保全にとつて、とても重要なものであり、歴史的景観とともに、長く後世に引き継いでいけるよう、今後も継続して取り組む必要があると考えています。

**問** 小保・榎津地区のインバウンドの需要をどのようにお考えか。

**答** 外国人向け観光関連産業は地域に高い経済効果をもたらすため、本市でも観光資源の磨き上げによる需要の開拓とその経済効果に期待しています。小保・榎津の藩境のまちには、江戸期の古民家や神社、寺院が数多く存在し、伝統工芸の大川組子や家具、建具の職人も集住するなど、外国人観光客にとって魅力的なエリアであり、インバウンド需要に向けた環境整備を図っていきたいと考えています。

**問** 伝統的建造物群保存地区となると、事業内容は今とどのような違いが出てくるのか。

**答** 手厚い助成によってまちをきれいにすることはできますが、例えば、住宅の新築や改築等で建物の外観等を変更する場合には、規制が課されることとなります。



これまでの女性の活動とこれからの女性の活躍について  
川野 栄美子 議員

**問** 明治、大正、昭和期の戦前までの女性の活躍記録が少ない中で、本市に残っている記録は。

**答** 福岡県三潴郡誌には、戦死者遺族等の救護を目的とした愛国婦人会の記載があり、明治期に各郡市に新設されました。次に大川市誌には、大正期に小学校の同窓会などが次第に形を変えて婦人会・処女会を結成する機運となったと記載があります。そして、大川市政が始まった昭和29年に地域婦人会を連合して大川市連合婦人会が結成されています。

**問** 市連合婦人会の歴代の会長は。

**答** 初代から順に龍野マツ子氏、井口カオル氏、添田延子氏、中村ハナ子氏、秋田幸子氏、山浦信子氏等で、前述の6名は市長の妻、県議会議員の妻、市議会議員長の妻、自らが市議である方々です。

**問** 本市初の女性議員については。

**答** 昭和30年3月の第1回大川市議会議員選挙に当選された本村チヨ氏です。母子家庭の住宅問題、婦人問題、用悪水路等の問題に取り組まれています。

**問** 女性団体をこれからどのような形で推進していけるのか市長の考えは。

**答** 団体自体は団体の皆さんの総意で運営されるものと思いますが、特にまちづくりに関しては男性も女性も参画いただくことが皆さんが幸せになる道だと考えます。広く、そこに住まれる方々の意見を実現化するためには、女性の皆さんも、区長職やまちの中の企画・立案などの場にどしどし出ていただければと思います。そして、女性団体の皆さんには、その方々の後押しをしていただくというところで、その活動がより充実されるのではないかと期待しています。



「大川の駅」の計画について（第8弾）  
市営小保団地建替えについて  
永島 幸夫 議員

**問** 2月4日の「大川の駅」シンポジウムの基調講演について、株式会社田園ブラザ川場代表取締役の永井彰一社長に依頼した理由は。

**答** 道の駅川場田園ブラザは、観光情報誌「じゃらん」の全国道の駅グランプリ2022で1位に輝いています。決して交通の便が良いとは言えない場所にありながら、川場村の自然や特産品を目指して年間約200万人もの客が訪れ、その約70パーセントがリピーターです。柔らかな発想を持った経営や、どのように川場村の皆さんが道の駅に関っているかなど、「大川の駅」を作っていく上で、物事の考え方を来場者の皆さんと共有することが、市にとって貴重な財産になると考え、お願いしました。

**問** 元年度以降、「大川の駅」推進のためにかった費用は。

**答** 元年度は約909万円、2年

度は約1千62万円、3年度は約1千398万円です。4年度は予算額で4千378万円です。なお、人件費等は含んでいません。

**問** 県営小保団地は、5年6月から解体工事が始まり、建て替えられる予定だが、同時期に建設された市営小保団地については。

**答** まず、エレベーター設置については、実現性、コストの両面から設置困難と判断しています。市営小保団地は昭和53年度から57年度に建設された鉄筋コンクリート造り、中層耐火構造の建物で、耐用年限は公営住宅法上70年です。供用可能な期間を25年以上残しており、現在のところ建て替え計画の具体化はしていません。今後の社会経済情勢、人口動向、入居状況等の変化に応じて、適宜管理計画を見直す中で、建て替え事業は検討したいと考えています。



子ども達の放課後の居場所について  
遠藤 博昭 議員

**問** 学童保育所の存在を市長はどのように認識しているか。

**答** 学童保育所は、放課後や土曜日、夏休みなどの長期休暇期間中、就労等により保護者が家庭にいない児童を対象として、適正な遊びや生活の場を提供し、子どもの健全育成を図ること、また、そのことを通じて親の働く権利と家族の生活を守るといった役割を持つ施設で、共働き世帯など、保育を必要とする世帯が増加を続けている今日、なくてはならない施設です。

一方、本市の学童保育所においては、主任支援員の後継者不足や支援員の慢性的な不足、労務管理や事故発生時の責任の所在など、いくつかの課題があることは承知しています。

そのため、現在、子ども未来課において、課題を解決するための検討委員会を、現場の主任支援員

の方々をメンバーに組織し、先進地の視察調査を行いながら、解決策について種々検討しているところであります。

**問** 学童保育所の今後の運営方針については。

**答** どのような方法を取っていくのが最善であるのか、個別具体的に検討することとしていますが、時期としては、5年度のできるだけ早い段階で、この方法が最善であるというものを提示し、それぞれの組織の方々と合意の上で、実際の運用としては、6年度から新しい体制で運営していきたいと思っています。

成り立ちが違う校区のそれぞれの思いの中で立ち上がってきた学童保育所を、まさに歴史の転換になるべく一本化して、行政としてしっかりと子育てを支えていきたいと考えています。

各種委員選出表

令和5年5月9日現在

| 氏 名<br><br>名 称     | 議 長        | 副 議 長      | 総 務 委 員 会 |            |            |          | 文 教 厚 生 委 員 会 |              |          |          |            | 産 業 建 設 委 員 会 |            |            |            |
|--------------------|------------|------------|-----------|------------|------------|----------|---------------|--------------|----------|----------|------------|---------------|------------|------------|------------|
|                    | 遠 藤<br>博 昭 | 古 賀<br>寿 典 | 永 島<br>守  | 宮 崎<br>稔 子 | 永 島<br>幸 夫 | 永 尾<br>学 | 平 木<br>一 朗    | 箴 島<br>か お る | 龍<br>誠 一 | 西 田<br>学 | 宮 崎<br>貴 仁 | 川 野<br>栄 美 子  | 馬 淵<br>清 博 | 内 藤<br>栄 治 | 古 賀<br>寿 典 |
| 久留米広域市町村圏事務組合議会    | ○          | ○          |           |            |            |          |               |              |          |          |            |               |            |            |            |
| 花宗太田土木組合議会         |            |            |           |            | ○          |          |               |              |          |          | ○          |               | ○          | ○          |            |
| 大川柳川衛生組合議会         |            |            | ○         |            |            |          |               |              | ○        |          |            | ○             |            |            | ○          |
| 大川市表彰審査委員会         |            |            |           | ○          |            |          |               |              |          |          | ○          |               |            |            | ○          |
| 大川市水防協議会           |            |            | ○         |            |            |          | ○             |              | ○        |          |            |               |            |            | ○          |
| 大川市安全・安心まちづくり推進協議会 | ○          | ○          | ○         |            |            |          | ○             | ○            |          |          |            | ○             |            |            |            |
| 大川・大木地区防犯協会        | ○          |            | ○         |            |            |          |               |              |          |          |            |               |            |            |            |
| 大川市消防賞じゅつ金等審査委員会   |            |            |           |            | ○          |          |               |              |          |          |            |               |            |            |            |
| 大川市国民健康保険運営協議会     |            |            |           |            |            |          |               |              | ○        |          |            |               |            |            |            |
| 大川市介護保険運営協議会       |            |            |           |            |            |          |               |              |          | ○        |            |               |            |            |            |
| 大川市長寿社会対策審議会       |            |            |           |            |            |          |               | ○            | ○        | ○        |            |               |            |            |            |
| 大川・大木一般廃棄物処理対策協議会  | ○          |            |           |            |            |          | ○             |              |          |          |            |               |            |            |            |
| 大川市環境審議会           |            |            |           |            |            |          |               | ○            |          | ○        |            |               |            |            |            |
| 大川市廃棄物減量等推進審議会     |            |            |           |            |            |          |               | ○            |          |          | ○          |               |            |            |            |
| 大川市民生委員推薦会         |            |            |           |            |            |          |               |              | ○        |          |            |               |            |            |            |
| 大川市献血推進協議会         | ○          |            |           |            |            |          |               |              |          |          | ○          |               |            |            |            |
| 大川市社会福祉協議会         |            |            |           |            |            |          | ○             |              |          | ○        |            |               |            |            |            |
| 大川市子ども・子育て会議       |            |            |           |            |            |          |               | ○            |          | ○        |            |               |            |            |            |
| (公財)筑後川昇開橋観光財団     | ○          |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             |            |            |            |
| 古賀政男顕彰会            | ○          | ○          | ○         |            |            |          | ○             | ○            |          |          |            | ○             | ○          |            |            |
| 大川木工まつり実行委員会       | ○          | ○          |           |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             | ○          | ○          |            |
| 大川市木工振興対策審議会       | ○          |            |           |            |            | ○        |               |              |          |          |            |               | ○          | ○          |            |
| 福岡県有明海漁業振興対策協議会    | ○          |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             |            |            |            |
| 大川市い業振興協議会         |            |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            |               | ○          |            | ○          |
| 大川市水田農業推進協議会       |            |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             |            |            |            |
| 大川市農業振興地域整備促進協議会   |            |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             | ○          | ○          | ○          |
| 大川市農業振興対策審議会       | ○          |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            |               | ○          | ○          | ○          |
| 筑後川堤防県道整備促進期成会     | ○          |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             |            |            |            |
| 矢部川改修期成同盟会         | ○          |            | ○         |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             |            |            |            |
| 大川市緑化事業推進委員会       |            |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             |            |            |            |
| 大川市都市計画審議会         | ○          | ○          |           |            |            |          |               |              |          |          |            | ○             | ○          | ○          |            |
| 大川市地域交通協議会         |            |            |           |            |            |          |               |              |          |          |            |               |            | ○          |            |
| 大川市奨学会             | ○          |            | ○         |            |            |          |               |              |          |          | ○          |               |            |            |            |
| 大川市青少年育成市民会議       |            |            |           |            |            |          | ○             |              |          |          |            |               |            |            |            |

※ 遠藤博昭議長は、総務委員会に所属します。  
※ 古賀寿典副議長は、産業建設委員会に所属します。

就任のごあいさつ



副議長  
古賀 寿典



議長  
遠藤 博昭

市民の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび、私どもは大川市議会議長並びに副議長に選任され、その重責を担うことになりました。議会の代表として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

さて、本市では、人口減対策、子育てや高齢者支援、交通インフラの整備促進など行政課題が山積しております。一方、2027年度開業を目指す「大川の駅」構想は、本市の一大事業として産業・観光振興拠点整備を行うことで、行政課題の解決をも図ろうとするものであり、にぎわいのあるまちづくりを目指し、その計画は着々と進められております。

議員一同、市民生活の向上のため、議論を尽くし市政に反映させてまいりますので、皆様におかれましては、市議会に対しまして一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

令和5年  
第2回臨時議会

審議された案件

いずれも提案どおり承認、同意されました

- 専決処分の承認（大川市個人情報保護審査会条例の一部改正）
- 専決処分の承認（大川市税条例の一部改正）
- 専決処分の承認（大川市国民健康保険税条例の一部改正）
- 専決処分の承認（5年度一般会計補正予算（第1号））
- 専決処分の承認（5年度一般会計補正予算（第2号））
- 大川市監査委員の選任  
〔人事案件欄をご覧ください〕
- 久留米広域市町村圏事務組合議会議員の選挙  
当組合の議会議員に、遠藤博昭議員、古賀寿典議員を選出しました。
- 大川柳川衛生組合議会議員の選挙  
当組合の議会議員に、永島守議員、川野栄美子議員、龍誠一議員、古賀寿典議員を選出しました。
- 花宗太田土木組合議会議員の選挙  
当組合の議会議員に、内藤栄治議員、馬淵清博議員、永島幸夫議員、宮崎貴仁議員を選出しました。

人事案件

5月9日の本会議において、次の方を選任することに同意しました。

◎大川市監査委員

宮崎 貴仁



# 新しい委員会の構成

## 文教厚生委員会



前列 ◎平木 一朗 ○箴島かおる  
後列 龍 誠一 西田 学 宮崎 貴仁

## 総務委員会



前列 ◎永島 守 ○宮崎 稔子  
後列 遠藤 博昭 永島 幸夫 永尾 学

## 議会運営委員会

◎箴島 かおる ○川野 栄美子  
永島 守 平木 一朗  
宮崎 稔子 馬淵 清博

## 広報委員会

◎永島 幸夫 ○西田 学  
馬淵 清博 古賀 寿典

◎=委員長 ○=副委員長

## 産業建設委員会



前列 ◎川野 栄美子 ○馬淵 清博  
後列 内藤 栄治 古賀 寿典

編集  
委員会  
副委員長  
委員長  
広報委員会  
古賀 寿典  
馬淵 清博  
西田 学  
永島 幸夫

※ 議長交際費の支出状況についてお知らせします ※

| 科目  | 主な用途          | 令和4年度 |         |
|-----|---------------|-------|---------|
|     |               | 件数    | 金額(円)   |
| 慶弔費 | 市関係団体等御霊前など   | 6     | 84,000  |
| 渉外費 | 意見交換会、祝賀会会費など | 7     | 50,000  |
| 賛助料 | 展示会協賛金など      | 1     | 3,000   |
| 土産料 | 行政視察時土産代など    | 1     | 5,540   |
| その他 | 弔詞印刷代など       | 1     | 9,900   |
| 合計  |               | 16    | 152,440 |